PeptiDream
各　　位

平成 27 年 2 月 24 日
ペプチドリーム株式会社
http://www.peptidream.com/
（証券コード：4587　東証マザーズ）

新しい抗インフルエンザ薬開発の進捗に関するお知らせ

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：窪田規一、本社：東京都目黒区、東証マザーズ、以下「ペプチドリーム」）は、公益財団法人東京都医学総合研究所（以下「都医学研」）シニア研究員 小原道法氏の研究チームとの間で共同して開発しているインフルエンザウイルス治療薬としての特殊環状ペプチドに係る研究開発の進捗に大きな進展がありましたので、ご報告いたします。

都医学研は、東京都からの支援のもと、平成20年から新規抗インフルエンザ薬の探索研究を進めています。ペプチドリームは、当該研究に参画し独自の創薬開発プラットフォームシステムPDPS（Peptide Discovery Platform System）を用いて抗インフルエンザ作用のある特殊環状ペプチドの創製を行ってきました。現在市販されている抗インフルエンザ薬であるリレンザ（GSK）、タミフル（Roche）はインフルエンザウイルス表面に存在するノイラミニダーゼを阻害して効果を発揮しますが、感染後すぐに服用しないと効果が限定されること、及び、新たな抗インフルエンザ薬耐性株にはほとんど効果がないことなどから、上記の問題点を克服した作用機序が異なる新規抗インフルエンザ薬の開発が強く望まれています。

平成26年４月８日に、当社は、既存の治療薬とは作用機序が異なる特殊環状ペプチドの獲得に成功し、マウスの試験において満足できる結果を得ることができたこと、さらにその結果を受けて、前臨床試験を念頭に置いたカニクイザルの試験を開始することに決定した旨の情報を開示させていただきました（詳細は平成26年４月８日のリリースをご参照ください。）。

今般、カニクイザルの試験が終了したことをここにご報告いたします。試験結果に関しては現在、都医学研においてデータを集積・解析中であり、しかるべきタイミングで開示させていただく予定です。現時点におけるデータからマウスの試験で裏付けられた良好な結果を確認することができ、ユニバーサルインフルエンザ治療ペプチドの樹立に向けて一歩近づいたものと考えております。

【公益財団法人東京都医学総合研究所シニア研究員 小原道法氏のコメント】

「今回の結果からマウスでの試験結果により得られた成果をカニクイザルで確認できたものと理解しています。詳細なデータ解析は現在進めており、データ解析が終了次第、論文投稿を行う予定です。今回のカニクイザルにおける具体的な試験成績は論文投稿後、アクセプトされた時点でペプチドリーム社と共同にて発表したいと考えております。」

【ペプチドリーム株式会社常務取締役リード・パトリック及びCOO舛屋圭一のコメント】

「カニクイザルの試験が無事に終了し、前臨床試験へ向けての検討に入れることは、自社創薬プロジェクトが本格的に稼働し始めた証であり、大変喜ばしく思っております。今後、大手製薬企業との共同研究開発に加え自社創薬を将来の大きな柱とすべく精進する所存です。」

【ペプチドリーム株式会社について】

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という現社長窪田と現社外取締役菅（東京大学大学院教授）の共通の夢から、平成 18 年 7 月に設立されました。独自の創薬探索システム PDPS(Peptide Discovery Platform System)を用いて、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し、高速な評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創製、リード化合物の選択、並びにファマコフォアの理解を極めて簡便に、かつ、効率的に行えるようにしました。ペプチドリーム株式会社は、特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】
ペプチドリーム株式会社　経営管理部　関根
TEL：03-3485-7707